

基礎演習 割り当て表の読み方

割り当て表について説明します。右図は表の一部を抜粋したものです。

基本的に、自分の担当範囲は「マスの左上から右下まで」と考えてください。ただし、右下部分の記述がない場合は、「次の人の開始地点の手前まで」と読んでください。たとえば、仲宗根君はCHAPTER 2の最初から始まり、「… disappear and everything returns to normal, to his relief and regret.」という記述で終わるところまでです。そして、次の長沼さんはその続きを担当します。「Olfaction is the term used for our sense of …」という記述で始まり、長沼さんのマスには右下の

| 氏名 | 1 | |
|---------|---|------------------------------|
| 1 仲宗根 祥 | CHAPTER 2: BIOLOGICAL FOUNDATIONS OF PSYCHOLOGY ... disappear and everything returns to normal, to his relief and regret. | ここから… |
| 2 長沼 美優 | Olfaction is the term used for our sense of smell. Hyperosmia (the increased ability to smell), ... | ここまで |
| 3 生井 愛莉 | THE STUDY OF THE BIOLOGICAL BASES OF PSYCHOLOGY ... Our brain might very well be the single most complex object that we know about. | 空白の場合は次の人の手前まで |
| 4 西 美奈子 | The study of the biological basis of our behavior involves considerations about its evolution. and disgusting is part of an individual's socialization. | 次の人の担当範囲とつながっていることを確認してください。 |
| 5 芳賀 南実 | Another human response that can be understood from within a model of pre-adaptation is activated by distress associated with physical pain as well as with social... | |
| 6 古河 萌 | We have seen that some human behaviors (the response to morally offensive behavior and ... | |

「ここまで」の表示がないので、その次の生井さんの担当範囲 (THE STUDY OF THE BIOLOGICAL BASES OF PSYCHOLOGY) の手前まで、となります。以下、学生証番号の順に担当範囲が進んでいき、松坂君の担当範囲が終わると2周目に入り、仲宗根君の2回目の発表に続いていきます。3周目以降も同様です。

自分の担当範囲を確認する際は、必ず「次の人がどこからか」を確認してください。前期とは違い、後期の割り当て表は、1回の担当範囲が多少長くなっても構わないことにして、なるべく切りのいいところまでやってもらうことにしています (特に第3章以降)。従って、人により、周により、担当範囲が激しく増減します。ですが、各人が累積でどのくらいの量を分担しているかを管理していますので、今回の担当範囲が多ければ、そのうち短い範囲の割り当てがくるだろうと思ってください。あるいは、多少の増減では調整不能となった場合、「担当量調整のため1回休み」と表記します。つまり、この場合、その人のその週の発表はありません。

初回の授業だけは、全員が1回目の発表を終えた時点で終わりにしますが、その後の授業では、全員の発表が終わっても時間いっぱいまで続けていきます。従って、1回の授業で自分に2度目の発表が回ってくる可能性を考えておいてください。担当範囲の訳文が用意できていない場合は、無断欠席と同様に扱います。授業が進むうちに、ある程度は進行速度についての読みができてくると思いますが、予想外の展開になったとしてもこちらは関知しませんので、そのつもりで余裕を持って準備してください。

訳文の作り方は、柳が作成した訳文 (第1章第1ページ) の体裁に従ってください (厳密に全く同じでなくても構いませんが)。担当範囲に引用文献がある場合は、テキストの最後にある文献リストから該当する文献情報を訳文の最後に載せてください。そのまま書き写すだけでも構いませんが、APAスタイルに準拠した形式でリストを作成することを推奨します。また、心理学辞典等で専門用語を調べた場合は、訳文の脚注でその意味を説明してください (説明の最後に「辞書名 (出版社)」を書いてください)。辞書の説明が長い場合は現在の文脈に照らし合わせて適当な範囲を抜粋すれば十分です。